

十一月は「児童虐待防止推進月間」

(オレンジリボン運動)です!

皆さんはオレンジリボン運動というのを御存知でしょうか。



二〇〇四年、栃木県小山市で三歳と四歳になる二人の兄弟が何度も何度も父親の友人から暴行を受け、橋の上から川に投げ込まれて幼い命を奪われるという痛ましい事件が起こりました。二〇〇五年には、栃木県小山市の「カンガルIOYAMA」という団体が、二度とこのような事件が起こらないようにという願いを込めて、子ども虐待防止を目指してオレンジリボン運動が始まりました。

子どもが虐待を受け、命を失ってしまうという事件が年間五〇件以上も起き、一週間に一人の子どもの命を落としている現状があります。また、虐待を受け、苦しんでいる子どもたちが増え続けています。児童相談所における児童虐待相談対応件数は二十二年間で約六十倍になっています。近年増加しているのは、心理的虐待といつて、大声や脅しなどで恐怖に陥れる、無視や拒否的な態度をとる、著しくきょうだいい間差別をする、自尊心を傷つける言葉を繰り返し返して傷つける、子どもがDVを目撃する、などを指します。子どもの心を死なせてしまうような虐待、といえるでしょう。

リボンのオレンジの色は、里親家庭で育った子どもたちが「子どもたちの明るい未来を示す色」として選んだと言われています。その胸の中に、オレンジフルーツのような明るさと温かきを感じたいという思いがあったのではないのでしょうか。

「子どもは社会の宝」とよく言われ続けてきました。子どもたちは、未来を担う大切な存在です。ですから、わたしたち大人の責任にも大きなものがあるはずで。子どもたちが安心して生活を送り、夢や希望に向かってのびのびと取り組んでいけるよう、私たち大人が関わっていくことが求められます。

去る10月27日(月)に行われた第46回陸上競技大会において、本校児童が大活躍をしました。その活躍の陰には選手の日々の練習の積み重ねと支えてくれた方々の熱心な指導がありました。本校では数年前から外部人材の方の指導を受ける機会に恵まれ、計画的な指導のもと、陸上競技大会の練習が行われています。専門の指導者と本校職員による技術と精神両面での支えによって、一人一人の力が十分に発揮されました。保護者の皆様の御支援、御協力に感謝致します。

第46回陸上競技大会種目別入賞児童及び記録一覧表

(男子)

種目	順位	氏名	記録
4年100m	3位	K・R	15" 1
6年100m	3位	Y・S	14" 4
1000m	6位	T・K	3' 22" 1
走り高跳び	2位	M・T	1m20cm
走り幅跳び	1位	K・M	4m22cm
	5位	W・G	3m78cm
ソフトボール投げ	2位	N・Z	50m08cm
	5位	W・H	46m28cm

(女子)

種目	順位	氏名	記録
4年100m	3位	O・M	16" 5
5年100m	1位	H・N	14" 6
6年100m	3位	H・Y	15" 2
1000m	3位	S・K	3' 29" 2
走り高跳び	3位	K・H	1m10cm
	4位	K・Y	1m05cm
ソフトボール投げ	1位	K・M	40m01cm

花いっぱい運動

11月12日の昼休み、環境委員会が中心となって校舎の花壇にパンジーを植えました。環境ボランティアのK・M様とK・Y様にお力添えいただき、大変きれいな花壇が完成しました。牛ふんは、Y・Y様にいただきました。これから春までずっと子供達の目を楽しませてくれそうです。一学期に植えたマリーゴールドはたくさんの種ができ、収穫もできました。本当にありがとうございました。

発達障害の理解(特別支援教育の視点から)
発達障害であることが気づかれにくいため本人が困っていること、「いくらがんばっても、うまくいかないんだ」「やろうと思っただけで、できないんだ」「どうして、みんなとおなじようにできないんだらう」「どうやったらいいか、わからないんだ」などなど発達障害であることに気づかれにくいため、友達から非難されたり、親や教師に怒られたりというような失敗体験を繰り返すことが多くなります。こうしていくうちに、次第に自分は「ダメな子」「できない子」という思いが強くなり、「なにをやってもうまくいかない」という思いやストレスが強くなってきます。最終的には、何に対してもやる気がわいてこなくなったり、自分に対して否定的になったり、自尊心や自己評価が低下してしまいます。また、わがままであるとか、しつけができない、努力が足りないなど誤解されやすく、本人も家族もともに傷ついてしまうことがあります。傷害の特性を理解した上で、その対応を考えていくことが大切です。

五年 臨海自然教室

五年一組 W・H
私は、臨海自然教室で楽しかったことが二つあります。

一つ目は、干物作りです。初めて魚をさばいたのでどきどきしました。少し難しかったけれど、完成した干物を見たら上手に出来たので嬉しかったです。家で食べてみたら、いつも買っている魚よりおいしかったので、また作りたいと思いました。

二つ目は、オリエンテーリングです。地図を見ながら森の中や海岸にある表記記号を探したことがおもしろかったです。どっちに行くか何度も意見が分かれましたが、なんとか最後までゴールできました。私達の班は、十五班の中で五位になりました。私は、ベストテンに入れないと思っていたので嬉しかったです。

五年二組 S・M
私は、臨海自然教室で印象に残っていることが二つあります。

一つは、フリータイムです。同じ部屋の人と一緒に話をしたり、片付けをしたりしていつもとは違うクラスの人達とも協力し合うことができたからです。臨海自然教室でのフリータイムは、とてもよい思い出に残っています。

もう一つは、干物作りです。干物作りでは、さんまをさばきました。初体験だったけれど食べてみるとおいしくて、よい経験になりました。

私は、臨海自然教室で協力したり、自分の役割を探したりすることができて大きく成長したように思います。三日間で学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思っています。

五年三組 Y・Y
私は、臨海教室で思い出や勉強になったことがあります。まず、住友金属鹿島製鉄所での見学です。鉄を作るにはたくさんの水が必要だということや、原料のこななどを教わりました。

とちぎ海浜自然の家では、私の部屋は四人だったので、副班長と整理係の両方の仕事をやりました。仕事が多いときには、同じ部屋の友達に協力してもらいました。

二日目の砂浜活動では、塩くみりレーをやりました。私の班はとてもたくさん水をバケツにくむことができました。



私は、この臨海自然教室で、グループ活動の大切さや時間を守る大切さを学びました。このことをこれからの生活に役立てようと思いました。

一年 校外学習

一年一組 O・Y
せいかつかの校がい学しゅうで、おぼがたくさんおちいきました。きいろやちやいろ、あかなどきれいないろでした。どんぐりやまつぼっくりもひろいました。つるつるしていいました。いけには、ちいさなさかなもいっぱいいました。グループのともだちとたくさんあきを見つけたので、うれしかったです。また、こうえんにいってあきをさがしたいです。

一年二組 T・A
大や川こうえんで、あきさがしをしました。あかやきいろのきれいなはっぱや、かわいいどんぐりがたくさんあったので、うれしくなりました。「あきさがしペンゴ」にかいてあるものをぜんぶさがすのはたいへんでしたが、グループのともだちと一緒だんしながらさがしたのでとてもたのしかったです。とちゅうで雨がふってきたので、ごごのあそびができませんでしたが、みんなでなかよくおべんとうをたべられたのでよかったです。

一年三組 M・Y
校がい学しゅうで、だいや川こうえんにいきました。あきたんけんをしていたら、学校で見つけたむらさきの小さなみとおなじものを見つけました。先生にきいたら、むらさきききふというみとわかりました。ほかにも、どんぐりやくりも、たくさん見つけました。おべんとうのじかんは、グループのともだちとたべました。おもしろかったです。また、みんなであきたんけんをしたいです。



学習発表会

二年一組 H・M
学習はつびよう会では、町たんけんでした。としようかんのことをはつびようしました。しらべてきたことがつたわるように、大きな声ではつきりとやるようにしました。みぶり手ぶりも入れて大きくえんぎしました。本ほんでも、じょうずにできたので、とてもたのしい思い出ができました。

二年三組 M・N
学習はつびよう会では、れん習の時とちがつてドキドキが止まりませんでした。でも、なんとかがまくんのえんぎが上手にできました。パパが「とても上手だったよ。グット」と言ってくれました。そうしたら、さつきまでのドキドキがふつとばされた気がしました。たのしいはつびよう会ができて、とてもうれしかったです。

三年一組 S・D
ぼくは、総合で勉強したことを発表しました。ぼくが調べたことは、お線香についてです。発表のときは、たくさんの方がぼくを見るので、すごくドキドキしました。でも、さい後まできちんとお話ししたので、すごくうれしかったです。

四年三組 T・U
ぼくが学習発表会でいちばん楽しかったのは、もちろん発表です。ぼくは、車椅子バスケットについて発表しました。練習のときは、大丈夫だろうと考えていたけれど、本番になると、ぼくのお母さんや友達が見ていたの、すごく緊張しました。でも、がんばって最後までやりとげました。来年の学習発表会も楽しみたいです。

四年三組 M・R
私は、耳の不自由な人のために何ができるのかをテーマにしました。一組から三組までの友達で、同じテーマの人とグループを作り、インターネットや本で調べました。分かったことを伝えやすいように紙に書いてみました。これから、耳の不自由な人もいっしょに生活していることを忘れて、自分に何ができるのかを考えて生活していきたいです。

六年一組 O・G
ぼくは、最後の学習発表会だと思わず悲しくなりました。でも、最後は最後まで、精一杯力を出し切ることができました。学習発表会のメインの発表は、大成功だと思えました。お客さんも盛り上がりだしてくれたのでうれしかったです。将来の夢の作文も大きな声で堂々と発表できたのでよかったです。

六年三組 I・K
ぼくは、学習発表会で戦国時代の劇をやりました。よろいやかぶとは全て手作りです。刀などは百円ショップで買いました。そして迎えた本番は、緊張しました。お客さんもいっぱい来てくれました。お客さんが笑ってくれてはとってもうれしかったです。最後の学習発表会は大成功で終わることが出来ました。

がんばった陸上大会

六年一組 W・G
ぼくは陸上大会で、リレーは四位、幅跳びは五位になりました。また、選手宣誓では、大きな声ではっきり言うことができました。

六年三組 H・Y
陸上選手みんなは、本番で、少しでもいい結果を出せるようにたくさん練習をしてきました。筋肉痛になつていたりもいましたが、その痛さを乗り越えました。そして、ついに陸上大会本番が来ました。みんないい結果を出せたと思います。私は、今年が最後の陸上大会だったので、今年最後の陸上大会も強い気持ちでがんばりました。いい結果が出てよかったです。